

第六十四回帝國議會
衆議院

米穀統制法案外一件委員會會議錄(速記)第二回

付託議案

米穀統制法案(政府提出)
米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和八年二月十八日(土曜日)午前十時四十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 東 武君

理事佐藤 重遠君 理事高橋 守平君

理事原 淳一郎君

河野 一郎君

尾崎 天風君

福井 甚三君

三善 信房君

石川 又八君

村松 久義君

木曾 三四郎君

小池 仁郎君

同月十七日委員松田竹千代君辭任ニ付其ノ補闕トシテ高田耘平君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 後藤 文夫君

出席政府委員左ノ如シ

農林參與官 松村 謙三君

農林省米穀部長 荷見 安君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

米穀統制法案(政府提出)

米穀需給調節特別會計法中改正法律案

(政府提出)

○東委員長 ソレデハ是カラ開會致シマス、大體質問ハ通告順ニ依ッテ委員長ノ方デ適當ニ按配ラシテヤル考デアリマス、本會議ノ順序ニ依リマシテ初メニ政友會、次ニ

民政ト云フヤウナ風ニ致シテ居リマスガ、サウ云フ嚴格ノ意味デナシニ、其時々ニ適當ニ按配ヲスルコトニ致シマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○後藤國務大臣 簡單ニ重ネテ一應米穀統制法案ト米穀需給調節特別會計法中改正法律案ノ御説明ヲ申上ゲマス、我國ニ於ケル

米穀事情ニ鑑ミマシテ、米穀ノ統制ヲ圖ル爲ニ、新ニ米穀統制ノ制度ヲ設ケ、之ニ伴ッテ米穀法ハ廢止スルコトニ致シタノデアリマス、本案ノ要旨ヲ申上ゲマス、第一ニ

政府ハ毎年政府ノ指定スル地ニ於ケル米穀ノ最低價格及最高價格ヲ公定スルコトニ致シマシテ、最低價格ニ依ル賣渡ノ申込ノアリマシタ時ハ、特別會計ノ資力ヲ以テ之ニ

應ジテ買入ヲ行ヒ、最高價格ニ依ル買入ノ申込ノアリマシタ時ハ、政府ニ於テ所有シ居ル米穀ヲ以テ之ニ應ジテ賣渡ヲ行ヒ、米價ヲシテ常ニ最低最高價格ノ範圍内ニ止マラシメントスルノデアリマス、而シテ此公定價格ノ決定ニ付キマシテハ、米穀生産者、消費者ノ經濟ヲ考慮スルト共ニ、物價等ノ狀況ヲモ考フルヲ必要ト認メマシテ、米穀生産費、家計費、物價其他ノ經濟事情ヲ參酌シテ、之ヲ決定スルコトニ致シタノデアリマス、右公定價格ハ、即チ毎年一回之ヲ定ムルコト、致シマス、但シ特ニ其後ニ於テ物價ノ變動ノ著シキ場合、又ハ米穀ノ需給狀況ニ著シキ變動ヲ生ジ、若クハ生ズル虞アル場合ニハ之ヲ改訂シ得ルコト、致シマシタ

第二ハ米穀ハ季節的ニ出廻量ニ甚シキ差異ガアリ、出來秋ニ於テ新米ノ出廻數量ガ一時ニ増加シ、端境期ノ近付クニ從ッテ減少スル傾向ガアリマスノデ、政府ハ十一月カラ二月ニ至ル所謂新米ノ出廻期ニ於テ米穀ノ買入ヲ行ヒ、出廻期後ニ於テ是ガ賣渡ヲ爲スコトニ依リ、道府縣、朝鮮、臺灣ヲ通

ジテ、管外移出ノ爲メ市場ノ出廻數量ヲ月別平均的ナラシムルヤウニシテ、以テ數量ノ平準ヲ圖ルコトニ努メタイト考ヘルノデアリマス、右ハ出廻數量ノ調節デアリマスルガ故ニ、政府ノ買入賣渡ヲ行フ米穀ノ數量ハ、其年ノ作柄ト過去ノ出廻割合トニ基キ、一定ノ標準ヲ置キマシテ之ヲ決定スルコトニナルノデアリマス

第三、最低價格最高價格ニ依ル買入賣渡、又ハ出廻調節ノ爲メノ買入賣渡等ニ關聯シテ、附隨的ノ處理ト致シマシテ、貯藏、買換、貸付、交換、加工、整理ノ爲メノ賣渡、輸入ヲ目的トスル米穀ノ買入又ハ輸出ヲ目的トスル賣渡ヲ爲シ得ル規定ヲ設ケタノデアリマス

第四ニ尙又米穀統制上米穀ノ輸出入ニ付テ常時許可制度ヲ採ルト共ニ、同様ノ趣旨ヲ以テ更ニ粟、高粱又ハ黍ニ付キマシテモ、特ニ必要ナル場合ニハ期間ヲ指定シテ、其輸入ノ制限ヲ爲シ得ルコト、シタノデアリマス、尙ホ米穀、粟、高粱又ハ黍ノ輸入税ニ關シマシテ、從來ニ於テハ米穀及粟ニ付テ輸入税ノ増減免除ヲ爲シ得ルコト、

ナッテ居ッたノデアリマスガ、本法案ニ於キマシテハ其外高粱又ハ黍ニ付テモ特ニ必要ノアル場合ニハ、期間ヲ指定シテ輸入税ノ増減免除ヲ爲シ得ルコト、シマシテ、米穀ノ統制上遺憾ナカラシメンコトヲ期シタノデアリマス

第五ニ米穀統制上諸般ノ調査ヲ要スルノデアリマスカラ、之ニ要スル規定ヲ設クルコトニ致シマシテ、尙ホ其他本法施行上必要ナル罰則、其他ノ規定ヲ設ケルコト、致シマシタ、以上ガ米穀統制法案ノ概要デアリマス

次ニ米穀需給調節特別會計ノ方ニ於キマシテハ、其借入限度ガ現在ハ四億八千萬圓デアリマスルガ、只今御説明申上ゲマシタ米穀統制法ノ機能ヲ發揮シテ、圓滑ナル運用ヲ圖ラウトスル爲ニハ不十分デアリマスコト、今回更ニ二億二千萬圓ノ増額ヲ行ヒマシテ、七億圓ニ致サウトスルノデアリマス、尙ホ米穀ノ貸付ニ關シマシテ規定ヲ整ヘル必要ガアリマスノデ、此法案ヲ提出シタ次第デアリマス、兩案トモ何卒御審議ノ上速ニ御可決アランコトヲ希望致シマス

○土井委員 私極ク簡單ニ質問ヲ致シタイノデアリマス、此米穀統制法ガ提案サレルニ至ルマデノ政府當局竝ニ米穀統制調査會

ノ非常ナル御勞苦ニ對シテハ滿腔ノ敬意ヲ表スル次第デアリマス、併ナガラ其調査期間ガ極メテ短期間デアリマシタガ爲ニ、未ダ理想案ヲ得ルマデニ至ラナカッタコト考ヘルノデアリマス、即チ調査委員會ニ於キマシテハ、公定案、管理案、專賣案此三ツニ依ッテ色々審議サレタト承ッテ居ルノデアリマス、其結果此公定案ナルモノガ採用サレテ、茲ニ米穀統制法案ナルモノガ生レタト承ッテ居リマス、此審議會ニ於ケル結果ガ現レテ此法案トナッテ居ルノデアリマスルガ、就キマシテハ此結果ヲ生ズルニ至ルマデノ、大體ノ經過デ宜シウゴザイマスカラ、審議ノ經過ヲ第一ニ承リタイノデアリマス、即チ何故ニ此管理案ガ用ヒラレナカッタカ、何故ニ此專賣案ガ用ヒラレナカッタカ、茲ニ公定案ヲ用ヒルニ至ッタ理由ハ如何ナル理由ニ依ッテ居ルカ、即チ簡單ニ申上ゲマスルナラバ、調査會ニ於ケル審議ノ經過ヲ極ク簡單ニ承リタイノデアリマス、ソレハ何故ニ斯ノ如キコトヲ御尋致スカト申シマスルナラバ、吾々ト致シマシテ忌憚ナク申上ゲマスルナラバ、此米穀統制法案ナルモノハ未ダ米穀對策ノ根本ニ觸レテ居ラヌト考ヘルノデアリマス、是ガ御尋致シマスル理由ノ第一デアリマス

ソレカラ第二ノ理由ト致シマシテハ、果シテ對策ノ根本ニ觸レテ居ラナイモノデアルトスルナラバ、尙ホ將來ニ向ッテ根本對策樹立ニ關スル調査會ヲ設置スル必要ヲ感ズルノデアリマス、ソレガ爲ニ審議會ノ經過ヲ概略承リタイト思ヒマス、斯ウ云フ理由ヲ以チマシテ只今ノ御尋ヲ致シタ次第デアリマス

○後藤國務大臣 米穀統制調査會ノ經過ノ極ク概略ヲ申上ゲマス、此會ハ短時日デハアリマシタケレドモ、十一月ノ下旬カラ一月ノ半バマデニ互リマシテ特別委員會ヲ開キ、特別委員會ハ更ニ小委員會ヲ開イテ、其各會ノ會合ヲ重ネタコトハ非常ニ頻繁デアリマス、而モ其會合ハ午前カラ午後ニ互ルヤウナ場合ガ多カッタノデアリマス、可ナリ慎重ナ審議カ行ハレタノデアリマス

政府ヨリ調査會ニ對シテ最初ニ參考案トシテ、米ノ專賣制度ノ要綱、米ノ管理制度ノ要綱、米穀公定制度ノ要綱ト云フモノヲ委員ニ提供シテアリマシタ、調査會ハ本會議ニ於キマシテモ、更ニ特別委員會ニナリマシテモ、此各案ノ檢討ヲ致シタノデアリマス、專賣案ニ付テ相當ニ細カイ論議ガ行ハレマシタ、更ニ管理制度ニ付テモ、又米穀公定ト云フ單純ナ制度ニ付キマシテモ、

相當ナ論議ガ行ハレタノデアリマス、專賣案ニ付テハ、理論的ニ考ヘテ可ナリ徹底シタ案デアルト云フ主張ヲサレル人モアリ、又サウ云フ感ヲ抱イテ居ラレタ委員モ少クナカッタラウト思フノデアリマスガ、之ヲ實行ノ問題トシテ考ヘル時ニ、幾多ノ重大ナ困難ガアリ、我國ノ今ノ經濟事情其ノ他ノ方面ト考ヘ合セテ、之ヲ今實行スルト云フコトハ出來難イコトデアラウト云フヤウナ意見モ大分出マシタノデアリマス、管理案、公定案等モソレノ長所ガアルケレドモ、又實行ノ上ニ於ケル色々都合モアリ、又徹底シナイ點モアル、ヤハリ實行的ニ見テ色々支障ガ多イト云フ意見ガ可ナリ強ク開陳サレタノデアリマス、ソコデ是等ノ三案ノ外ニ何カ有力ナ米穀制度ト云フモノハ、立タナイモノデアアルカト云フコトガ、小委員會ノ途中ニ於テ委員ノ方々ノ考慮スル所トナリマシテ、ソコデ只今ノ統制案ノ要綱——大分ハ變化シタ所ハアリマスガ、此統制案ノ米穀調査會ノ答申トナリマシタ案ノ前身トナルベキ要綱ガ議題トナリマシテ、結局今日ノ實際ノ狀況ニ照シテ實行ヲ求メレバ大體斯ウ云フ所デアラウト云フコトデ小委員會、特別委員會ヲ經テ本會議

ニナリマスルマデ、大體全員ノ一致ヲ以テ只今申上ゲタ答申トナツタ要綱ガ決定サレタ譯デアリマス、此答申ノ要綱ニ基キマシテ、政府モ是ガ適當ナモノデアラウト考ヘテ本法案ヲ提出スルコトニナツタ譯デアリマス、尙ホ細カイコトヲ御聴キ下サル點ガアリマスレバ、政府委員ノ方カラ御答申上デマス

○土井委員 今日ノ經濟事情竝ニ米穀ノ事情ト致シマシテハ、是ヨリ外ニ已ムヲ得ナカッタモノト思フノデアリマスルガ、併シ私ハ敢テ專賣論ヲ主張スル者デモナケレバ、又管理案ガ宜イト主張スル者デモナイノデアリマス、併シ此米穀統制ヲ完全ニヤラウトスルニ付テハモウ少シ統制ノ方法モアツタノデハアルマイカト私共考ヘルノデアリマス、先ヅ例ヲ舉ゲテ申シマスナラバ、今日重要産業ノ所謂統制法ナルモノモ出來テ居リマス、米ハ重要産業デアリマスケレドモ、米ハ其中ヘ入ッテ居ラス、若シ眞ニ完全ナル統制ヲヤラウトスルナラバ、管理法デナクトモ、專賣法デナクトモ、現在ノ重要産業統制法ノ精神ヲ加味シ、一種ノ強制統制ノヤウナモノデモ或ハ出來ハシナカッタモノデアラウカト私共感ズルノデアリマス、固ヨリ農家ハ個人々々デアリマス

ルカラ、個人々々ヲ直チニ統制スルト云フコトハ困難デアリマセウ、併ナガラ一郡ヲ一區域トスル所ノ統制組合ノ如キモノヲ作リ、更ニソレヲ統轄スル爲ニ一縣ニ於テ聯合セシメル、各府縣ノ聯合會ヲ中央ニ置イテ、中央執行部ト云フ如キモノヲ作ッテヤッテ行ク方法ヲ立テタナラバ、丁度重要産業統制法ノ精神ニモ適ヒ、現在ノ統制經濟ノ一部デアリマスル所ノ「カルテル」式ニモ適フ、而モ一方ニ於テ國家トシテ莫大ナル費用ヲ使ハズトモ此目的ヲ達スルコトガ出來得ルモノト思フ、是ハマア一例デアリマシガ、申上ゲマシタナラバ、色々統制ノ方法モアリマスルガ、一例トシテ申上ゲマシテモ、其方法デ行ケバ國家ノ費用モ餘リ使ハズ、又統制ヲスル上ニ於テモ煩雜デナク、今日ノ提案ニナツテ居ル米穀統制法以上ノ效果ガ舉リハシナイカ、併シナガラ決シテ其說ヲ主張シテ、直チニソレヲ行ヘト云フガ如キ不可能ナコトヲ私ハ申上ゲル譯デヤナイ、即チ此米穀統制法ノ今日ノ此法案ノ中ニ於テモ只今一例ヲ舉ゲタ如キ完全ヲ缺イテ居ル點ガアルト氣付ク所以デアリマス、仍テ此米穀統制法ト云フモノハ對策ノ根本ニ觸レテ居ラスケレドモ、決シテ是ハ政府竝ニ米穀統制調查會ヲ責メル譯デヤナ

イ、初メカラ言ウデアリマス通り、短時日ナルガ故ニ到底理想ニ近イ所迄行カナカタデアラウト云フコトハ同情シテ居ル譯デアリマス、決シテソレヲ責メテ居ル譯デヤナイ、要ハ此統制法ニ於テハ對策ノ根本ニハ未ダ觸レテ居ラス、就テハ將來此根本對策樹立ニ關スル調查會ト云フモノヲ繼續スルカ、若クハ新ニ設置スルカ致シマシテ、相當研究ヲ繼續スル必要アリト認メルノデアリマス、就テハ是ハ餘リ齒ニ衣ヲ御著セニナラズシテ御答ヲ願ヒタイノデアリマシガ、將來尙ホ〳〵根本政策樹立ニ關スル調査ヲ行ハレル御意思アリヤ否ヤ、之ヲ第二ニ御伺致シタイノデアリマス、固ヨリ政策ト申シマスルモノハ、獨リ米ノミナラズ、一方ニ理想ガアツテモ、理想ヲ直チニ行フコトガ出來ズシテ、實情ニ依ッテ逐次進歩致スコトニナツテ居ルコトハ、私ガ申上ゲルマデモナク御承知ノ通りデアリマス、此米穀對策ニ付テモ、徐々漸々ニ理想ニ近寄ルベク、更ニ此調査會ノ繼續又ハ設置ノ御意思アリヤ否ヤ、ソコヲ一ツ忌憚ナキ御意見ヲ承リタイノデアリマス

○後藤國務大臣 色々更ニ考慮セラルベキ點ニ付テ御説ガアリマシタ、根本政策調査ノ爲ニ更ニ調査會デモ設置シ、又ハ續ケテ

行ク積リデアアルカドウカト云フ御話デアリマス、固ヨリ政府ニ於キマシテハ、一度此新制度ヲ樹立致シマシテ、尙ホ將來ノ調査研究ハ十分ニ續ケテ行キタイト思ヒマス、現在ノモノニ尙ホ實行シ得ベキ改良ノ餘地ガナイカドウカト云フコトニ付テハ、將來ノ米穀事情ノ色々變遷ニ依リマシテハ、更ニ又新ナル方法ヲ考ヘテ行カナケレバナラスト思ヒマス、其制度ガ出來マシテモ、政府トシテハ將來ニ向ッテ調査研究ヲ怠ラズニ致シタイト云フ考デハアリマス、併ナガラ本制度ガ樹立サレマシテ、之ニ大キナ缺陷ガアルカラ、又直グ他ニ根本ノ制度ヲ調査スルノダト云フヤウナ譯ニハ致サナイ方ガ宜シカラウカト思ッテ居リマス、此米穀問題ノ如キハ兎ニ角國民ノ生産者、消費者双方ニ重大ナ關係ヲ持ツモノデアリマス、先ヅ是ガ今日及ビ今豫想スル將來ニ於テ大體適當ナ制度デアアルト考ヘマシテ、其制度ノ上ニ出發致シマシタ以上ハ、其制度ノ運用ノ成果ヲモ見ナケレバナラス、調査ハ十分ニ今後モ致シテ行キタイ積リデ居リマスケレドモ、直チニ此法案ニ又非常ニ根本的改正ヲスルト云フ目的ヲ以テノ格段ナ踏出シヲ、今直グスルト云フコトハ如何デアラウカト考ヘテ居ル次第デアリマス

○土井委員 政府當局トサレマシテハソレ

以上御答辯ハ不可能デアルト思フノデアリマス、實ハ過去ヲ語ル譯デハアリマセヌガ、町田農林大臣ノ時代ニ率勢米價制度ガ制定サレタノデアリマス、其時ニ到底ハ完全ナモノデナイ、必ズヤ近キ將來ニ於テ一大缺陷ヲ發見スルデアラウト云フコトヲ御忠告申上ゲテ置イタケレドモ、町田サンニシテハ是ガ絶對完全ナモノデアル、斯様ニ御答ニナッテ居ル、以來其經過ヲ見マスルト、果セル哉失敗ニ終ッテ、故ニ改良ヲヤッテ行カウトスルニ付テハ、ドウシテモ繼續的ニ——是ガ惡イト云フ意味デナクシテ、モウ少シ良イ案ハアルマイカト云フコトノ研究調査ヲ常ニ怠ラナイト云フコトデナケレバ、時勢ノ進運ニ後レ、又運用ノ上ニ於テ非常ナル缺陷ヲ生ズルト云フコトガ起ルノデアリマス、先ヅ一例ヲ舉ゲテ申シマスルナラバ、今回米穀需給調節特別會計ノ方ニ於テ餘程資金ヲ増加シタ、是ダケノ金サハアレバ、旨クヤッテ行ケルグラウ、即チ總額七億萬圓ニ相成ッタ次第デアリマス、損モスマイト考ヘテ居ッデモ、非常ナ思ハザル損ヲ招イテ大ニ遺損ウタ、失敗シテシマッデカラ後悔ヲセネバナラス、一方ニハ國家ノ非常ナ損失トナリ、一方ニハ生産者又ハ消費

者、又ハ取引所ノ業者ナドニモ非常ナ迷惑

ヲ掛ケルト云フヤウナコトニナリマスルガ故ニ是ガ惡イ、故ニ根本ヲ研究スルト云フ意味デナクシテ、繼續的ニ調査研究ヲ怠ラヌ一ツノ途ヲ御開キニナルノガ、國家ノ爲メデアルマイカト思フノデアリマス、更ニ古イ過去ヲ申上ゲル譯デハアリマセヌガ、大正十年ノ米穀法制定ノ當時ニ於テモ、其時ニハ今日ノ山本内務大臣ガ農商務大臣デアリマシタガ、一切資金ハ損ヲスル道理ガナイ、何故ナラバ安イ時ニ米ヲ買ヒ、高クナレバ賣ルノデアルカラ、敢テ利益ヲ目的トスル譯デハナイケレドモ、損ハ立タナイ、斯ウ云フヤウニ其當時聲明サレタノデアリマス、所ガ其後ノ經過ハドウデアルカト申シマシタナラバ、既ニ此需給調節特別會計ノ資金ガ二億圓以上、或ハ二億五千萬圓モ損ヲ來シタ、斯ウ云フ實例ガアル譯デスカラ、何モ是ハ根本ガ惡イカラ、根本ヲ直サウト云フ意味デナクシテ、モウ少シ之ヲ完全ニ、秩序的ニ徐々ニヤッテ行クト云フ御考ガ、寧ロ國ニ對シテ忠實ナル所以デナイカト考ヘルノデアリマス、ソレデ私ハ調査會設置、或ハ調査會ノ繼續ト云フコトヲ御尋シテ居ル譯デアリマス、サウスルト、成程調査研究モ必要デアルト云フコトニ相

成リマスルガ、ヤハリ費用モ要ルコトデア

リマスカラ、ソレ等ノ點ニ付テハ、サウ大シタ金デモナイカラ、追加豫算ナドデモ御要求ニナッテ、斯ウ云フヤウニ致シタ方ガ宜クアルマイカト思フノデアリマス、ケレドモ、ソレニ對シテ直チニ御答辯願ヒタイト申ス譯デハナイ、其點ニ付テハ一ツ御研究置キヲ願ヒタイ、ドウシテモ只今申シタヤウニ機械デモ油ヲ差シ、或ハ磨イテコソ初メテ長ク使ヘ、完全ニナルト同ジャウニ、法律モ一ツノ機械デアリマス、油ヲ差シ、又磨イテ行クト云フコトガ必要デハナイカ、斯ウ云フ意味カラ申上ゲルノデアリマス、デスカラ是ハ御答辯ハ要リマセヌ、ソレヲ一ツ御研究ヲ願ヒタイ、此點ニ付テハ留保ヲ致シテ置キマシテ、他ノ機會ニ大藏大臣並ニ農林大臣ニ御伺致シタイと思ヒマス

第二ニ御尋致シタイノハ公定價格決定ノ

事デアリマス、即チ米穀統制法第二條ニ、「政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ毎年米穀ノ最低價格及最高價格ヲ公定シ之ヲ告示ス、前項ノ最低價格及最高價格ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費、家計費及物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ之ヲ定ム」、斯ウナッテ居リマスガ、米穀生産費、家計費、物價其他ノ經濟事情ヲ斟酌スル譯デアリマス、

是ハ能ク意味ガ分リマス、ソコで一ツ御尋

致シタイノハ、其中ノ米穀生産費デアリマス、從來如何様ナル基準ニ依リ、方法ニ依ッテ米穀生産費ト云フモノヲ算出爲サッデ居リマシタカ、之ヲ御伺致シマス

○後藤國務大臣 米穀生産費ノ調査ハ、生産費調査ノ要目方法ニ付キマシテ、特別ナ審議ノ會ヲ經マシテ、只今實行サレテ居ルヤウナ方法ガ、慎重ナル考究ノ結果出來上ッテ居ルノデアリマス、其大要ハ米穀部長カラ申上ゲルコトニ致シマス

○荷見政府委員 只今土井サンノ御質問ノアリマシタ生産費ノ調査ノ問題デアリマス、是ハ御承知ノヤウニ、勅令デ以テ此調査ノ要綱ダケヲ規定致シマシテ、ドレダケノ種類ノ經費ガ米ノ生産費トシテ加ハルカト云フコトニ付キマシテ、其調査方法ハ又施行規則ノ方デ細カニ書イテ居ルノデゴザイマス、大體吾々ノ方ノ方針ト致シ、現在ノ法令ノ建前ト致シマシテハ、主要米産地方ニ於テ普及シタ品種ノ水稻作ヲ調査スルコトニ致シマシテ、其調査農家ノ得マス收穫ト云フモノハ、段當リノ收穫量ガ、中等ノ收穫量デアルコト、ソレカラ其調査農家ノ經營ノ規模モ中等デアルコト、其他總テ中庸ノ生産費ヲ得ルニ適當ナル農家ヲ選擇

致シマシテ、其農家ニ就テ調査致スコトニ
ナツテ居リマス、尙ホ實際ハ只今調査致シテ
居リマスノガ、千三十戸ノ農家、自作小作
各半數ヲ各府縣ニ割當テマシテ、全國ニ互
テ調査シテ居ルノデアリマスガ、今度ハ更
ニ其調査戸數ヲ増加致シマシテ、二千戸ノ
戸數ニ就テ調査ヲ致サウ、斯ウ云フコトニ
致シテ居ル次第デアリマス

○土井委員 生産費ノ費目トシテハ如何ナ
ル項目ニナツテ居ルノデアリマスカ、ソレ
ヲ一ツ伺ヒタイノデアリマス

○荷見政府委員 其費目ハ勅令デ規定シテ
アルノデアリマスガ、御手許ニ參考資料ト
シテ差上ゲマシタ米穀法關係法規ノ五頁ノ
所ニゴザイマス、種粃代、肥料代、勞賃、
畜力費、諸材料費、農舍費、農具費、租稅
其ノ他ノ公課、土地資本利子、小作料ト云
フ十種ノ項目ニ付テ調査致シマシテ、ソレ
カラ算出スルコトニナツテ居ルノデアリマ
ス

○土井委員 能ク解リマシタ、ソコデ極ク
肝要ナ點ヲ御尋致シタイノデアリマスル
ガ、即チ此生産費ノ費目中、今日非常ニヤ
カマシイ問題ニ相成ツテ居ルノハ、日本全國
ノ農會長ナドモ寄ツテ居リマスルガ、其人
人ノ主張ト、ソレカラ現在行ハレテ居ル勅

令ノ算出方ト大分相違ガアル、ソレガ即チ
現在並ニ將來ニ於キマシテ、米穀生産費算
出ノ大問題ニナルモノト私ハ確信ヲ致シテ
居リマス、ソレハ何デアアルカト申セバ、即
チ此生産費目中、只今御示シニナリマシタ
ル租稅其他ノ公課、是ガ第一、第二ガ土地
資本利子ノ算出方法、是ガ非常ナ問題ニモ
ナリ、且ツ又生産費ヲ割出ス上ニ於テ大ナ
ル影響ガアルト考ヘルノデアリマス、ソレ
ハ如何ナル點ヲ申上ゲルノカト言ヘバ、租
稅其他ノ公課ノ中ニ於テハ、第一ニ戸數割
ナドモ加味サレテ居ラヌト云フコトヲ聞イ
タノデアリマス、ソレカラ第二ニハ部落費
又ハ水利費ナドモ加味サレテ居ラス、第三
ニハ所得稅又ハ所得稅ノ附加稅、所ガ所得
稅並ニ所得稅ノ附加稅ト云フヤウナモノ
ハ、不必要デハナイカト言フ論者無キニシ
モ非ズデアリマスガ、尤モ小作者デアレ
バ所得稅ヲ納メナイ人モアリマセウガ、自
作者ニナルト矢張所得稅並ニ所得稅ノ附加
稅ナドヲ納メテ居ル、是ガ即チ今日ノ農會
方面デ問題ニナツテ居ルノデアリマス、第一
ハ戸數割ヲドウスルカ、水利費、又ハ部落
費ヲドウスルカ、第三ニハ所得稅又ハ所得
稅ノ附加稅、是ガ一ツ、所謂租稅其ノ他ノ
公課ト致シマシテ今議論ニナツテ居ルノガ、

只今申シタ是ガ一ツ、ソレカラ第二ニ、愈
米ヲ賣ル買フト云フノハ、地場デ取引ヲス
ルニ非ズシテ、御承知ノ通り大阪デアルト
カ、神戸デアルトカ、或ハ東京デアルトカ
云フ所デ從來政府ハ御買上ニナツテ居ツタ、
又今度モソレヨリ外ナカラウト思フノデ
ス、農家一戸々々ノ庭ヘ行ッテ米ヲ買フト
云フ譯ニモ行カヌ、其場合ニ庭先デ米ヲ作
ル生産費ヲ基準トシテ米ヲ御買上ニナルノ
デアリマスルガ、事實買上ゲル場所ハ市場
デアリマス、サウスルト農家ノ庭カラ市場
ニ至ルマデノ運賃並ニ諸掛ト云フモノガ
買上價格ノ中ニ加味サレテ居ラス、之ヲド
ウスルカ、是ガヤカマシイ問題ニナツテ居
ル、詰リ生産費ト致シマシテハ、第一ニハ
租稅公課ノ中ニ於テ加味サレテ居ラス部分
ガアル、第二ニハ只今言ウタ運賃並ニ諸掛
ト云フモノガ、買上價格ノ中ニ算出サレテ
居ラス、編入サレテ居ラス、即チ算用漏レ
ニナツテ居ル、是ガ第二、第三ニハ此頃ヤカ
マシイ問題ニナツテ來テ居ルノハ、土地資本
利子問題デアリマス、即チ農林省方面ニ於
テハ、小作料ヲ基準トシテ、小作料ノ中カ
ラ租稅其ノ他ノ公課ヲ差引イタモノヲ、基
準トシテ土地資本利子ヲ割出サレテ居ルヤ
ウニ承ツタノデアリマスルガ、農業者方面カ

ラ申シマスルト、土地ハ御承知ノ通り或ル
意味カラ言ヘバ賣買ノ對象物デアリマス、
一反歩買フ場合ニハ五百圓出ストカ、或ハ
千圓出ス、實際資本ト云フモノヲ投ジテ土
地ヲ買入レルノデアリマス、故ニ眞ニ土地
資本利子ト云フモノヲ割出サウトスルナラ
バ、土地ノ賣買價格、所謂地價ト云フモノ
ヲ標準トシテ、ソレカラ幾ラ利息ヲ拂フベ
キモノダ、斯ウ算定方法ヲ立テルノガ正當
デアルマイカ、現ニ國カラ自作農維持創定
トシテ金ヲ貸出サレル場合ニ於テモ、尤モ
助成金ナリ、補助金ナドモアリマス、併シ
愈、出ル金ハ四朱八厘、或ハ補助ヲ出サレテ
モ、農家ノ拂フ上カラ言ヘバ三朱五厘、矢
張土地ノ時價ト云フモノヲ基準トシ、標準
トシテ土地資本利子ト云フモノヲ計上サレ
テ居ル、所ガ又農林省方面カラ言フト、左
様ナコトヲ爲サラズシテ、時價ト云フモノ
ヲ一ツモ眼中ニ置カズシテ、小作料ヲ標準
トサレル、一寸茲ニ矛盾ガアリハシナイカ、
矛盾ノ是非善惡ハ別トシテ、正當ナル議論
ノ上カラ言ヘバ、矢張時價ト云フモノヲ標
準トシテ、三朱トカ、四朱トカ云フ資本利
子ヲ割出シテ來ルノガ本當デアルマイカ、
斯ウ考ヘルノデアリマス、即チ非常ニ縷々
申上ゲマシテ、質問ノ要點ガ捕捉シ難キ點

第六類第十二號 米穀統制法案外一件委員會議錄 第二回 昭和八年二月十八日

ナキニシモ非ズデアリマスガ、私ノ申上ゲマシタ點ハ、第一ハ租税其ノ他ノ公課ノ場合ニ於テ、第一ニ戸數割、第二ニ水利費並ニ部落費、第三ハ所得税並ニ所得税ノ附加税、是ハ如何ニ御考ニナッテ居リマスカ、ソレカラ生産者ノ生産地カラ愈、引渡シマスル市場ヘ行ク運賃並諸掛ハドウスルカ、ソレカラ只今申シタ土地資本利子、是等ノ御考ヲ一ツ御伺スル次第デアリマス

○後藤國務大臣 大變精密ナ専門的ノ御尋デアリマス、私大要御答シマシテ、尙ホ細カイ點ハ米穀部長カラ補足スルコトニ致シタイト思ヒマス、部落費、戸數割、所得税、所得税附加税ト云フヤウナモノハ租税公課ノ中ニ含メナイデ調査ヲ致シテ居リマス、是ハ理論ノ上デ含メルコトノ適否ノ問題ノアリマスモノト、實際ノ實行ノ上デソレヲ計算スルコトノ方法ノ困難ナ爲メ、却テ出タモノ、結果ハ非常ニ不正確ニナルト云フヤウナモノモアリマシテ、今日マデ之ヲ包含セシメテ居ラナイノデアルト考ヘテ居リマス、ソレカラ土地資本利子ヲ土地ノ時價ヲ本ニシテ金利ノ計算スル方法ガ適當デアルカ、唯一ノ小作料ヲ基本ニシテ計算スルコトガ適當デアルカト云フ點ニ付キマシテハ、私共ノ唯今ノ考デハヤハリ小作料ヲ

基礎ニシテ計算スル方ガ寧ロ實際ノ事情ニ合ッテ見方デアルト云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ運賃諸掛ヲ生産費ノ中ニ加ヘナイ爲ニ、庭先デ生産費ハ計算サレル、而モ實際ノ買入ヲスル場所ハ市場デアアルカラ、ソレニハ當然運賃、諸掛ガ加味サレテ市場ノ價ガ出テ來ル、其市場ノ價ガ庭先ヘ反映ヲシテ、庭先ノ價ト云フモノガソコニ現ハレル譯デアリマス、サウ云フ關係ヲ見マスルト、運賃諸掛ヲ何カ考慮ノ中ニ入レルノガ適當デハナイカト云フ御議論ガ豫テアルコトハ承知致シテ居リマス、當局ニ於テモ是ハ色々研究ヲシテ居ルノデアリマス、唯生産費ノ中ニ運賃諸掛ヲ入レルト云フコトハ、一寸考ヘ惡イ問題ナノデアリマス、然ラバ運賃諸掛ヲドウ云フ風ニシテ加味シタラ宜イダラウカ、ドンナ計算デ運賃諸掛ト云フモノヲ計算シテ公定價格決定ノ中ニ取入レタラ宜イカト云フ點ハ、マダ成案ヲ得テ居リマセヌ、非常ニ難シイ問題デアアル譯デアリマス、デ今日マデモサウ云フ事情カラ、此點ガ生産費ノ計數ノ中ニ、生産費ノ要素トシテ擧ゲラレテ居ラナイコトデアルト考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ米穀部長カラ御答致シマス

○荷見政府委員 只今ノ御話デ大體趣旨ハ

盡キテ居ルノデアリマスガ、私ハ一寸土井サンニ御諒解ガ行キ易イカト思ヒマスノデ、細カイ點ヲ一ツ申上ゲテ見ヤウカト思ヒマス、極メテ簡單ニ申上ゲマス、第一ノ租税公課ノ中デ戸數割、所得税並ニ其附加税ト云フモノト、部落協議費ガ入ッテ居ラヌコトハイカヌデハナイカト云フ御話デアリマシタガ、是ハ先程モ仰シヤイマシタヤウニ所得税ノ問題ニ付テハ、御承知ノ通りニ入レルノハ不適當デアルト云フ議論ガ非常ニ有力デアリマス、ソレカラ戸數割ノ方ハ從來入レテモ宜イデヤナイカ、入レタ方ガ宜イノデヤナイカト云フ議論ガアルノデアリマスガ、實際上ニ於テ戸數割ノドレ位ノ部分ガ稻作ニ負擔セシムベキ公課デアアルカト云フコトヲ、判定スルコトガ困難デアルト云フ理由デアアルノデアリマスガ、十分此點ハ研究シテ見ル必要ガアルト思ヒマス、ソレカラ部落協議費ハ其賦課徵收方法ガ頗ル區々デアリマスノデ、土地ニ依ッテ非常ニ相違ノアルモノモアリマス、例ヘバオ祭リノ費用デアリマストカ、寄合ノ費用デアルトカ云フヤウナコトデ、水利等ニハ餘リ關係セヌ費用ガ大部入ッテ參リマスノデ、實際調ベテ居リマスケレドモ、ドレ位加ヘテ宜イカ、中々困難ナ事情ガアリマス、水利

費ノ其他ノ部分ニ付キマシテハ、例ヘバ部落ノ共同ノ費用デ以テ用排水ノ灌漑ヲスルヤウナ所デハ多クハ農家ノ勞力ニ算入シテアリマスカラ、只今デモ生産費ニ入ッテ居リマス、ソレカラ土地資本利子ノ問題デアリマスガ、是ハ農商務省時代カラ十數年モズツト調査シテ居リマスガ、ドウモ生産費ヲ調査致シマスル町村ノ部落等ニ於テハ土地ノ賣買ノナイ所ガ多イノデアリマシテ、其類地ヨリ非常ニ遠カタ地價ニナリマスノデ、ソレヲ持ッテ來マスト甚ダ不正確ニナルト云フノデ、研究ノ結果改メマシテ、賣買地價ニ依ラナイデ、小作料ニ依ルト云フコトニ致シタノデアリマス、尙ホ利廻ノ程度モ三分ガ宜シイノデアリマスガ、四分ガ宜シイノデアリマスガ、其決定ニ非常ナ困難ヲ感ズルノデアリマシテ、ソレ等ノ點カラ致シマシテ只今モ大臣カラ御説明致シマシタヤウニ、吾々ノ方デハ實際ニ適シ、町村ニモ便宜デアアル小作料ノ方ノ賃賃價格ノ計算ニ依ッテヤッテ居ル譯デアリマスノデ、其點ヲ御含ミ置キテ願ヒタイト思ヒマス

○高橋委員 關聯シテ居リマスカラ……今ノ米穀部長ノ御説明ニ依ッテ地租公課ト云

フノモ、戸數割ト云フノモ非常ニ困難デア
ル、斯ウ云フ御説明デアリマシタガ、米穀
法施行規則ノ第十三條ノ農舍費ノ關係デア
リマスガ、茲ニ米作負擔割合ト云フモノヲ
見テ居ル、是ハ即チ農家ノ色々ノ住宅關係
ノ問題、ソレカラ納屋、作業場、其他ノ問
題ノ計算方法ガ茲ニ示サレデアリマス、此
割合ヲ妥當ナリト認メル立場カラ言ヘバ、
戸數割ノ算定ノ仕方モサウ困難ダト云フコ
トハ考ヘラレナイ、是レト同ジヤウナ方法
デ、推定出來得ルモノデハナイカト思ヒマ
ス、若シ此十三條ノ算出方法ガ妥當ナリト
考ヘルナラバ、戸數割ノ算出方法モ簡單ニ
出來得ルト斯ウ考ヘラレル、是ハ根本ニ於
テ戸數割ト云フモノヲ入レナイト云フ御考
デ入レナイノカ、ソレトモ困難ナリト云フ
意味デ入レヌノカ、入レルコトハ妥當ダケ
レドモ、算出方法ガ困難デアルカラ入レヌ
ト云フ御方針カ、其根本方針ヲ一ツ御尋シ
タイ

○荷見政府委員 只今御話ノ施行規則ノ十
三條ノ農舍費、其他農具費モ左様ナ計算方
法ニナッテ居リマスガ、農舍費ノ計算方法ノ
ヤウナモノデ、米作負擔ノ割合ヲ決メマシ
テ、更ニ米作負擔ニ戸數割ノ一分ヲ加ヘタ
ナラバ宜イデハナカラウカト云フ、只今ノ

御質問デアリマスガ、ソレハ帝國農會アタ
リデ戸數割ヲ生産費ニ加ヘマスル點ニ付テ
ハ、此十三條ノヤウナ精密ナ方法デハアリ
マセヌケレドモ、大體米作ノ粗收入、其他ノ
農作關係——農作バカリデハアリマセヌ、其
他全般ノ粗收入關係カラ、戸數割ヲ分ケテ
居ルヤウデアリマス、ソレデ只今御質問ニ
ナリマシタ農舍費ノ方ハ例ヘバ住宅ノ部分
デゴザイマス、住宅ハ三十坪アル、其中
デ二坪ハ土間デアッテ、其處ヲ平素米作ニ使
ヒマス、農具ヲ入レテ置ク、ソレカラ米ヲ
取入レマスレバ其處ニ種子ヲ積ンデ置クト
云フヤウナ風ニ致シマスレバ、詰リ其使用
部分ノ割合ニ依リマシテ此第十三條ノ米作
負擔割合ヲ私共ハ決メテ居リマス、是ハ現
實ニ分リ易イノデアリマス、所ガ戸數割ニ
ナリマスルト、米作ノ粗收入バカリデハナ
ク、其他一般ノ農家ノ收入ヲ一應調ベナケ
レバ相成ラヌノデアリマス、是ハ農家ノ收
入調査ヲ全般ニ致サナケレバナラスコトニ
ナリマスノデ、ソコガ非常ニ負擔割合ヲ決
メマスノニ、十三條ト違ヒマシタ都合ニ於テ
困難ガゴザイマス、但シ困難デアルト致シ
マシテモ、ソレハ調査ノ方法ノ約束事デアリ
マスカラ、斯ウ云フ風ニ米作負擔ノ割合ト
其他ノ農作物ノ負擔割合トニ依ッテ、戸數割

ノ總額ヲ分ケたら宜イデハナイカ、其他ノ
收入モアレバソレモ入レテ分ケたら宜イデ
ハナイカト云フ御話デアレバ、分ケ得ヌコ
トハアリマセヌガ、ソレハ戸數割ト云フモ
ノモ根本ハ資産割ト、所得割ニナッテ居ルノ
デアリマシテ、資産割ノ方ハ田地ニ課ルノ
デアリマス、ソレカラ所得割ノ方ハ別ニ課
ルノデアルカラ、サウ云フ點カラ考ヘマス
ト、根本的ニ入レテイカヌト云フ考ハ私共
持ッテ居リマセヌ、入レテモ適當ナ負擔方法
ガ分明スルナラバ宜シカラウト私共ハ考ヘ
テ居ルノデアリマス、唯只今申上ゲマシタ
ヤウニ、粗收入關係デ分ケマスヤウニシテ
モ、分擔ヲサセマスル比例ガ非常ニ困難ニ
ナッテ居ル事情ガアリマスノデ、サウ云フ點
ヲ十分考究スル價值ガアルヤウニ考ヘマス
ト云フコトヲ、土井サンニ御答致シタ譯デ
アリマス

○土井委員 此生産費ノ問題ハ米穀統制法
中ノ骨子ダラウト思フノデアリマス、十分
其點ニ付テハ、是ノ審議ノ終ルマデニ政府
ニ於カレテモ御研究願ヒタイ、又吾々委員
ト致シマシテモ、餘程之ニ重キヲ置クト云
フコトニ致シタイト思ヒマス、是ガ一番ノ
骨デアラウト思フノデアリマス、ドウシテモ
戸數割ナドヲ生産費ノ方ニ入レナイト不都

合ヲ來ス、ドウ云フ譯デ不都合デアルカト
言ヘバ、段々都會集中ノ時代ニ相成リマシ
テ、大地主デアルトカ云フヤウナ者ハ都會
ニ行ッテシマフ、ソレデ戸數割ハ納メヌ、又
土地兼併トハ申シマセヌ、今ノ時代ニ兼併
ハナイデアリマセウガ、併シ金ヲ貸シタ、
ソレガ流込ダト云フヤウナコトデ、甲ノ
村ノ人ガ乙ノ村ノ土地ヲ持ッテ居ル、ソレモ
戸數割ハ納メナイ、後ニ殘ッタ小作人デア
トカ、或ハ勤勉ナル自作農ト云フヤウナ
ガウント戸數割ヲ取ラレル、ソレガ生産費
ノ中ニ入ラスト云フコトハ非常ナ苦痛デア
リ、又本當ノ生産費ヲ割出スコトニナラス
ダラウト思フ、是ハ一例デアリマス、故ニ
此問題ニ付キマシテハ十分御研究ヲ願ヒマ
シテ、ドウシテモ生産費問題ト云フモノヲ
勅令デ定メルトシテモ、餘程ノ制限ヲ議會
デ致シテ置ク必要ガアルト思フ、出來得ベ
クンバ法律デ之ヲ定メテ置ク方ガ宜クハナ
イカト思フマデニ考ヘテ居ル次第デアリマ
ス、今詳シク之ヲドウ斯ウ質問ハ致シマセ
ヌガ、此議會ノ濟ムマデニ御研究アランコ
トヲ希望致シマス
ソレカラ第三ニ御同致シタイノハ、數量
調節ノ問題デアリマス、數量調節ハ從來モ
ヤッテ來ラレタ譯デアリマスガ、ソレニ付テ

御尋致シタイノハ、茲ニ愈、法律改正ト相成ッテ、是ガ法律ニ相成リマシタナラバ、資金ガ七億萬圓出來ルコトニナリマス、所ガ此七億萬圓全部ヲ使フコトハ出來ナイ、ト云フ譯ハ餘程損モ出來テ居リマス、ソコデ第一ニ此七億萬圓ノ内譯ヲ聞キタイノデアリマス、七億萬圓ト云フ金ヲ基礎トシテ、内第一ニ損失ガ何ボ、ソレカラ内第二ニ現在ノ政府所有米ニ投資シテ居ル資金ガ何ボ、但シ其中デ損ニナル、得ニナルト云フコトモ現ハシテ貰ヒタイ、第三ニ愈、此金ガ活動資金トナッテ、將來ニ向ッテ活動資金ガ幾ラ殘ルカト云フコトヲ聞キタイノデアリマス

○荷見政府委員

只今御話ニナリマシタコトハ、結局米穀特別會計ノ前途ノ問題ニナルノデアリマスガ、此内デ前ニ御斷リ申上ゲマスノハ、所有米穀ノ評價ガ毎年政府ト致シマシテハ、三月三十一日現在デ致スコトニナッテ居リマスガ、其後モ時々計算ヲ致シテ見ルノデアリマスガ、時價ガ動搖致シマスノデ、必シモ「フィックス」シタ數字デハナイノデアリマスカラ、其點ヲ一ツ御含ミ置キヲ願ヒマス、大體ヲ申上ゲマスト、昨年末、七年ノ十二月末ノ狀況デハ借入金ガ極ク大綱ミニ申上ゲマスト、現金デ借り

テ居リマスノガ一億七千五百萬圓、ソレカラ證券ガ一億一千六百萬圓バカリデアリマシテ、借入金ノ合計ガ二億九千一百萬圓ニナッテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ借入限度デアル所ノ四億八千萬圓ニ對スル餘力ハ一億八千九百萬圓、約一億九千萬圓ニナッテ居ル譯デアリマス、其中デ米ノ評價ハ大體八千三百萬圓バカリニナッテ居リマス、ソレカラ損失金ノ増額ハ一億八千五百萬圓程ニナッテ居リマス、其他ヲ申上ゲマスト細マヽニ申上ゲルコトニナリマスカ、大體サウ云フ狀況ニナッテ居リマス、ソレデ本年ノ十月ノ末日ニ於キマシテハ色々米ヲ買ヒマシタリ、所有米ヲ賣却致シマシタリスル數字ヲ豫測致シマシテ計算スルノデアリマスガ、大體推定デ計算致シマスト約二億一千二百萬圓バカリノ借入餘力ガ出ル譯ニナルノデアリマス、ソレデ今度制定致シマスル新米穀統制法ノ資金ノ程度ヲ色々ニシテ計算致シタノデアリマスガ、其内容ハ數字ニナリマシテ此處デ申上ゲテモ餘リ煩雜カト思ヒマスノデ省キマスガ、大體大豐作ガ二箇年續キマシテモ、其爲ニ公定價格ニ依ル買入ガ相當多額ニ上リマシテモ、尙ホ十分ト云フ力ヲ見込ミマスト、只今申上ゲマシタ借入金又ハ米穀證券ノ利子

ナドモ其中ニハ含ムノデアリマスケレドモ、ソレヲ以テ見マシテモ十分ト云フ力ヲ見込シテ約二億二千萬圓ノ資金ガ要ルト云フコトデ、只今ノ七億圓ト云フコトニ致シタ譯デアリマス

○土井委員

一寸聽損ネタノデアリマスカ、此二億一千萬圓、或ハ二億二千萬圓要ルノハ七億萬圓ト云フ金、所謂資金ヲ基礎トシテソレデ差引二億一千萬圓デスカ、此上尙ホ二億何ボ殖エル譯ニナルノデアリマスカ

○荷見政府委員

ソレハ只今申上ゲマシタ今年ノ十月末ニ於キマスル借入限度ノ餘力ガ二億一千萬圓、ソレニ更ニ今同増加シテ戴ク借入金限度ノ餘力ガ二億二千萬圓デアリマシテ、總計四億三千萬圓ノ資金ノ餘力ガ出來ル譯ニナルノデアリマス

○土井委員

分リマシタ、ソコデ色々世ノ中デ議論ガアルノデアリマスガ、將來兎ニ角活動的ノ資金ト云フモノガ四億三千萬圓デアリマス、此四億三千萬圓、ソレガ所謂一定ノ豫算デアアル、此一定ノ豫算ノ下ニ運用セラル、ガ故ニ買入申込ニ對シ無限ニ應ズルコトハ到底不可能デアルト、斯ウ云フ論モアルノデアリマス、又政府ノ保有米ノ數量ヲ越エテ賣却ノ申込ガアツタ場合ニハ

ソレニ應ズルコトガ出來ナイ場合ガ生ズルノデアリマス、即チ絶對無限ニ買入或ハ賣却ヲ行フコトガ出來ナイ、斯ウ云フ心配ヲシテ居ル人ガ世ノ中ニアルヤウデアリマスカ、果シテ政府ハ此四億三千萬圓ニ依ッテ、新タナル米穀統制法ヲ完全ニ運用シ得ラルルヤ否ヤ、其御確信ガアリマスカ、又其確信ニ對シテハドウ云フ計數ニナルカト云フコトヲ承リタイ

○後藤國務大臣

大體ノ事ハ私カラ申上ゲマシテ、計數ハ又部長カラ申上ゲマス、私共ノ考デハ資金ノ増加ニ依ッテ新制度ノ運用ハ當分心配ナク參ルト思ッテ居リマス、非常ニ遠イ將來ヲ想像シ、且ツ惡イ場合バカリヲ重ネテ想像スルト、其時ニナッタ困ルデヤナイカ、斯ウ云フ意見ハ出得ルト思ヒマスケレドモ、實際ノ問題トシマシテハ是ダケノ資力ヲ以テ、サウシテ大體是ハ後程申上ゲマスケレドモ、吾々ノ推算シテ居ル分量ヲ買ヒ得ルト云フコトヲ考ヘマスケレバ、其推算程ノ數量ノ買上ナドヲシナクテモ公定價格ヲ維持スルコトハ十分ニ出來ルト思ッテ居ルノデアリマス、此資力ノ増加ハ可ナリ大キク裕リヲ見マシテ、實際ノ場合ニ於テ、ソレ程運用ノ豫想通りニ全部シテシマウト云フコトニ行カナクテ目的ハ

達シ得ルト考ヘテ居リマス、又此最高價格ノ維持ノ問題ニ付テモ、政府ノ有ッテ居ル米ノ賣出デアリマスガ、是モ政府ガ相當ノ數量ヲ有ッテ居ルコトニシマスレバ、例ヘバ只今三百萬石以上ノ米ヲ有ッテ居リマスガ、是ハ多少ノ増減ハアリマセウケレドモソレニ近キ數量ヲ有ッテ居ルトシマスレバ、非常ナ大豐作、特別ナ例外的ノ場合ガ萬一來トラバドウスルカト云フ懸念ハナイコトハナイト思ヒマスケレドモ、大抵想像シ得ベキ場合ニ於テハ、米ノ價ヲ最高價格ニ維持スルコトハ出來ルガラウト思ヒマス、尙ホ資力ヲ有ッテ居リマスカラ、外米ノ輸入等モ最初有ッテ居ル政府ノ米ヲ以テ應ジテ居ル間ニ、其手當ヲスルト云フコトモ出來ヤウト思ヒマス、ソレデ最高價格ノ維持ニモ差當リ懸念ハナイト考ヘテ居ルノデアリマス、其他ハ米穀部長カラ申上ゲマス

○荷見政府委員 只今ノ御質問ニ對スル細カイ數字ノ事ヲ申上ゲテ見ヤウト思ヒマシマス、大體新統制制度ハ色々準備ノ期間モ要シマスノデ、ソレニハ事務所モ相當設ケナケレバイカヌト思ヒマスシ、ソレカラ又勅令ナリ、省令ナリデ施行上色々規定ヲ澤山作ラナケレバイカメヌカラ、今年ノ十一月ノ新米穀年度カラ施行致シタイト云フ

考ヲ有ッテ居リマス、サウ致シマス、新米穀年度ノ初メニ大體政府ノ所有米ガ二百五十萬石前後ヲ有ッテ居ルモノト致シマシテ、色々ナ經費ヲ計算致シタノデアリマス、ソレデ其間ニハ現行制度ニ依リマス借入金ノ利子、又ハ借換證券ノ利子ト云フモノガ相當多額ニ達スルノデアリマス、サウ云フモノモ大體支拂ッテ行クト云フコトニ致シマシテ計算ヲ立テタ譯デアリマシテ、大體是マデノ經驗カラ考ヘテ見マス、非常ナ大豐作ノ際デモ調節買ヲ最モ多ク致シマシタ年ハ一米穀年度三百萬石ノ石數ニナッテ居ルノデアリマス、ソレデ只今ノ平均收穫高ハ過去五箇年間ニ依リマスト端數ハアリマスガ、約六千萬石バカリニナリマス、ソレカラ販賣米ノ總額、ハ三千二百萬石、又ハ三千三百萬石程度ニナリマス、サウシテ管外ニ移出サレル米穀、詰リ一年ヲ通ジテ中央ノ市場ニ出廻リ、又地方ノ市場ニ出廻リマスモノト認メラレル米ノ數量ガ千二百萬石バカリニナルノデアリマス、從來ノ經驗カラ見、又是等ノ數量カラ引合セテ見マシテ、大體米ノ價格ガ下落致シマスル米穀ノ出廻期等ニ於キマシテハ、約六百萬石程度ノ買入ト云フコトガアルナラバ、公定價格ト云フモノヲ維持シ得ルモノデアラウ、斯ウ云フ風

ニ考ヘタノデアリマス、併シソレハ一年度ノ問題デアリマスカラ、次ノ年度ニ又同ジヤウナ場合ヲ繰返スコトガアリ得ルダラウ、サウスルト更ニ又六百萬石ノ買入ヲスルト云フコトガアルデアラウ、其外ニ季節調節ノ買上ノ問題デアリマスガ、是モ十一月乃至二月ノ間ニ季節調節ニ依ル買入ヲ要スル米穀ノ數ガドレ位デアルカト申シマス、大體内地米ガ只今ノ計算デ大キク見マシテ百六七十萬石、ソレカラ朝鮮米ガ百二十萬石バカリ、臺灣米ガ三十九萬石バカリト云フ數量ヲ其間ニ買入レマスカラ、三百萬石以上ノ米ノ買入ヲスル、其買入ヲ行フ資金ヲ見マシテ、其合計ガドレ位ニナルカト云フコトヲ考ヘテ見マス、先程申上ゲマシタ四億三千萬圓バカリニナル譯デアリマス、其程度ヲ見テ置ケバ大抵ノ大豐作ト云フヤウナコトガ參リマシテモ、最低價格ヲ維持スルニ十分デアラウ、斯ウ云フ風ニ考ヘタ譯デアリマス、サウシテ其四億三萬圓ノ中カラ、新米穀年度ノ初メニ持ツモノト豫想サレマスル二億一千萬圓バカリノ買入餘力ヲ引イタ二億二千萬圓ト云フモノヲ、追加擴張シテ置ケバ宜イモノデアラウ、斯ウ云フ風ニ考ヘタノデアリマス、諄イヤウデアリマスガ、六百萬石ノ買入ト季

節調節ニ依リマシテ内地、朝鮮、臺灣ヲ通ジテ約三百萬石餘ノ買入ト云フコトニナリマス、一度ニ千萬石以上ノ買入ガ行ハルル譯デアリマスカラ、ソレヲ考ヘテ見マス、ト云フト、一年ヲ通ジテ縣外ニ出廻ル數量ノ殆ド全部ガ買ヘルト云フ仕組ニナリマシテ、ソレモ一年デハナク、一年度ニ互ッデモ出來ルト云フヤウナ豫想デアリマスカラ、大體是ナラバ御安心ガ行クノヂヤナカラウカ、斯ウ考ヘタ買入限度ノ計算ニナッテ居ル譯デアリマス

○河野委員 私ハ只今ノ會計ノ問題ニ付テ關聯シテ御尋シテ見タイノデアリマス、ト申シマスノハ從來ノ米穀法ガ米穀法ソレ自體ノ缺陷ヨリモ會計ノ建前ニ根本ノ失敗ガアル、ソレガ一番最大ノ缺陷ノ原因ヲ成シテ居ルト云フコトハ、今此處デ私ガ色々申上ゲル迄モナク當局ハ十分御承知ノ事ト考ヘルノデアリマス、即チ最初現行米穀法立案ノ當初ニ、只今土井君カラ御話ガアリマシタ通り、此米穀法ハ自給自足ノ出來ルモノデア、官吏ノ俸給モ、總デノ物件費、人件費モ是デ賄ヘルモノデアルト云フ建前デ此特別會計法ヲ作ラレタ、所ガソレガ全ク事志ト違ッテ今日ノ結果ヲ生ンデ居ル、茲十箇年間ニ一億何千萬圓ノ缺損、年ニ平均

シテモ千何百萬圓ノ缺損ヲ來シテ居ルト云フコトハ、現實ノ事實デアリマス、然ルニ今後只今御話ノヤウナ豐作ノ時ニハ、一年ニ一千萬石ヲ買上ゲルダケノ決心ヲ有ツタ此米穀法ガ、此儘デ尙且ツ自給自足ガ出來ルト云フ建前デ、此現行ノ特別會計ノ資金ノ増加ダケデオ遣リニナツタ其根本ノ理由ハ、ドウ云フ風ナ御考デオ遣リニナツタカ先ヅ承ッテ見タイト思ヒマス

○後藤國務大臣 米穀需給調節特別會計ノ只今ノ建前ガ危險ヲ包藏シテ居ルト云フコトハ、吾々モ或程度ニハ之ヲ認メルノデアリマス、併シ現行米穀法制定ノ當初ニ於テ考ヘラレタ自給自足デ、安イ時ニ買ッテ、高イ時ニ賣ルノデアルカラシテ、總テノ經費ナリ何ナリハ支辨シテ損失モ決シテ生ジナイト云フコトハ、是ハモウ必ズ其通りニ行クト申ス譯ニモ參リマセヌケレドモ、サウ云フ場合モアリ得ルト云フ豫想ハ今後ト雖モ持テルノデアルト思ヒマス、第一ニ今持ッテ居ル損失ノ整理ヲシ、第二ニ經常的ニ實際要ル費用ヲ特別會計ノ外ニ除クト云フヤウナ事柄ガ考究ヲサルベキ問題デアルト思ッテ居リマス、是等ノ點ニ付テハ當局ニ於テモ色々考究シ、又財務當局トノ折衝モ豫テモヤッテ居ル問題デアリマスルケレドモ、

此場合財政一般ノ關係、其他カラ此需給會計ノ建前ノ整理、今持ッテ居ル損失ノ整理ト云フヤウナコトヲ直チニ著手スルト云フ譯ニ參ラナカッタノデアリマス、今後ト雖モ此點ニハ考究ヲ續ケテ一氣ニソレガ理想的ニ參リマセヌデモ、漸次改善ヲ加ヘテ行キタイト云フ希望ヲ持ッテ居リマス、今後新米穀制度ノ運用宜シキヲ得マスレバ、今申シタヤウナ心組デ餘力ヲ備ヘテ臨ムノデアリマス、其餘力ヲ直チニ潤渴スルト云フヤウナ事態ハ容易ニ生ゼズシテ、此餘力ガ公定制ヲ維持スルコトニ非常ニ強ク働クノデアルト思フノデアリマス、是ハ將來ノ豫測デアリマスカラ、斷定的ニ申サレマセヌケレドモ、是マデノ制度ニ依ル所ノ今ノ米穀資金ノ運用ヨリモ資力ハ大キクシテ、却テ其資力ヲ用フルコトハ少クシテ、其目的ヲ達スル力ガ今度ノ制度ニハアリ得ルト考ヘテ居リマス

○河野委員 只今ノ大臣ノ御話デ、大體現行米穀法ト同様ニ、此統制案ハ先程ノ御話ノヤウニ根本的ノモノデアルガ、特別會計ノ方ハ寧ろ極端ニ言ヘバ一時的ノモノデアッテ、今後漸ク追ウテ改善シテ行キタイト云フ御話ノヤウデアリマスガ、結局何時ノ時期ニ於テモ國家ノ財政カラ見テ、今年ハ是

ダケノ金ガ餘ッテ居ルカラ、米穀法ノ方ヲヤッテヤラウト云フ時ハ私ハナイヂヤナイカト思ヒマス、斯ウ云フ非常ノ際ニ非常ナ決心ヲ以テオ遣リニナレバコソ、又乃至ハ斯ウ云フ機會ヲ捉ヘテ米穀ノ根本對策ヲ樹立スルト云フ機會ヲ捉ヘテオ遣リニナレバコソ出來ルノデアッテ、ソレヲ一方ニ於テ米穀根本對策トシテノ統制法案ヲ御出シニナリ、ソレトクツ附ケテ特別會計ノ方ノ資金ノ増加ダケデオ遣リニナルト云フコトハ、其處ニ非常ナ矛盾ガアルノデハナイカト考ヘルノデアリマス、併シ是モ只今ノ大臣ノ御話デアリマスカラ、而モ將來ニ殘サレタ問題ダト云フ御話デアリマスカラ、其問題ハソレ以上申上ゲマセヌガ、唯私ノ遺憾ト致シマスノハ、先程米穀部長ノ御話ニモアリマシタ通り、ドウモ過去ノ問題ダケヲ、過去ノ統計、過去ノ數字ダケヲ以テ、將來ノ政治ヲオ遣リニナラウト云フ御考ハ、根本ニ於テ違ッテ居ルデヤナイカト思フノデアリマス、少クトモ政治ハ將來ノコトデアアル、殊ニ現在ノ如ク明日ヲ豫測スルノニ困難ナ狀態ナ時ニ、過去ノ五箇年平均ノ數字ガ六千萬石デアルカラ、大體六百萬石ト見テ置イタラ宜イガラウト云フコトヲ何等——先日モ本會議デ私

ハ申上ゲマシタ通り、生産ノ統制ノ方ニハ、生産ノ調査ノ方ニ於テハ何等御考ニナラズニ——御考ニナツタカモ知レマセヌガ、何等具體的ニ現サズニ、唯過去ノ數字ダケヲ基礎ニシテ將來ノ立法ヲ爲サルト云フコトハ、非常ニ根本ニ於テ矛盾ガアリハシナイカト思フ、會計ノ問題ニシテモ其通りデアリマス、更ニ進ンデ承ッテ見タイノハ、然ラバ特別ノ方策ガナントシテモ、毎年何千萬カノ借金ノ利拂ダケデモシナケレバナラヌ、同時ニ事務費、其他ノモノヲ使ハナケレバナラヌト云フ時ニ、今ノ此二億二千萬圓ノ資金ヲ増加シテ、何年位先マデ行ケル御見込デ御立テニナツタノデアリマスガ、其年限ヲ承ッテ置キタイト思ヒマス

○荷見政府委員 只今ノ御話デアリマスガ、私ハ現在ノ數字バカリ見テ此案ヲ立テタト云フ意味デ——言葉ガ足りナイノデ、或ハサウ御聽取下サツタカモ知レマセヌガ、其處ヲ一ツ訂正シテ置キマスガ、現在ノ數字ハ斯ウ云フ風ニナツテ居ル、ソレカラ之ヲ立テマスル際ニハ、次ノ年、又其次ノ年ト將來五箇年位ノ收穫増加、或ハ產米増殖計畫ニ依リマスル米ノ供給ノ増加ノ歩合等モ一應ハ檢討シテ見マシタ、ソレカラ又人口増加ニ依ル消費ノ増加率等モ、是モ過去カ

ラ其率ヲ出サナケレバイカスノデアリマシ
テ、將來ノモノモ見マシテ一應ハ計算シタ
ノデアリマス、併シ是ハ推算デゴザイマシ
テ、是ガ正シイト申上ゲル程ノ自信ハゴザ
イマセヌ、又自信モ付キ得ナイノデアリマ
シテ、大體過去ノ趨勢カラ將來ノモノヲ割
出シテ見タノデアリマスガ、サウ云フモノ
ヲ參考ニシテ致シテ居ルノデアリマスカ
ラ、ソレハ一應御諒承置キヲ願ヒタイと思
ヒマス、ソレカラ是ガ調節買入等ヲ行フコ
トナシニ、現在ノ事務費、事業費、ソレカ
ラ過去ニ於ケル借入金ノ利息ト云フヤウナ
モノヲ、何等資力ノ無イ此特別會計ガ支辨
シテ行ッテ何年持ツカト云フ問題デゴザイ
マスガ、ソレハ米價ノ狀況ニモ依リマスル
ノデ、季節調節買入レマス三百萬石バカ
リノ米ガ出廻期ニ非常ニ安クテ、ソレカラ
賣却致シマス端境期ニ非常ニ——非常ニト
申シマシテモ公定價格ノ範圍内デ相當高
マツタト致シマス、事務費、事業費ト云フ
ヤウナモノモ殆下出デシマヒマスカラ、大體
從來ノ借入金ノ利息ト云フモノデ以テ是ハ
ヤッテ行ケルコトニナルト思ヒマス、併シソ
レモサウハッキリ此處デ申上ゲラレル問題
デアリマセヌ、皆見込ノ問題デゴザイマス
ノデ、ハッキリシタ數字ヲ申上ゲル譯ニハ行

キマセヌガ、サウ云フ風ナ見方デ此會計ガ
何年持ッテ行クカト云フコトヲ御推測下サ
ルト云フト何カ見當ガ付クカト思ヒマス
○河野委員 モウ一言御許シ願ヒタイノデ
アリマス、大體季節調節ヲシタ米デ、事務
費、人件費ガ償ヘルダラウト云フ考ヘ方ガ私
ハ違ウデハナイカト思ヒマス、是ハ今マデ
ノ經驗デハッキリシテ居ル、米ヲ買ッタノハ
古クナッテ賣レバ損ヲスル、賣ラウト思ヘバ
米ハ安クナル、サウ云フコトハハッキリシテ
居ル、唯強テ私ハ損ヲスルト云フコトヲ考
ヘヌデ、ソレヲ非常ニ有利ニ考ヘテ、大體
買ッタ米ヲ買ッタ時ノ値段デ賣レルトシテ見
テ、保管料トカ云フモノハ大體損ニナルデ
セウ、サウ云フコトモ大シテ見ズニ、借金
ノ利拂、ソレカラ事務費ガ非常ニ是カラ嵩
ム、其事務費ガ一年下ノ位掛カルカ、吾々
ニハ想像ガ付キマセヌガ、恐ラク相當ノモ
ノガ掛ルノデハナイカト思ヒマス、ソレヲ
見マスト一體下ノ位掛ル計算ニナリマス
カ

○荷見政府委員 私モ其季節調節ノモノガ
儲カルモノトハ考ヘテ居リマセヌ、若シモ
米穀ノ動キデサウ云フコトニナレバト云フ
ヤウニ考ヘタノデアリマス、決シテ儲カル
ト云フコトハ考ヘテ居リマセヌ、ソレカラ

現在ノ事務費、事業費ニ付テアリマスガ、
其俸給費ノヤウナモノハ極メテ僅カナ金額
デアリマス、ソレハ七萬圓バカリノモノデ
アリマス、ソレカラ其他ノ事務費ガ三十八
萬圓、前年度ノ實行豫算デハ斯ウナッテ居リ
マス、ソレカラ事業費ガ六百七十六萬圓バ
カリニナッテ居リマス、ソレデ此米穀證券ヲ
發行シマス爲メノ豫定ガ、是ガ米ヲ買フ金
デアリマスカラ非常ナ金額ニナッテ居リマ
スガ、是ハ實際要ルコトモアリ、要ラヌコ
トモアラウカト思ヒマス、大體サウ云フ風
ナ事情ニナッテ居リマスカラ、俸給、事務費
ノ如キモノハ、是ハ極ク僅カナ金額ニナル
ノデアリマス、ソレデ米ヲ有チマスト云フ
ト、此米ノ保管料ガ要リマスシ、其買入代
金ニ對スル利息ガ要ルノデアリマスカラ、
其數量ガ殖エマスト相當殖エマス、大體保
管料ガ一石ニ付テ一年ニ一圓位宛要ルモノ
ト御考ヲ願ヒマス、三百萬石ヲ有チマス
ト三百萬圓ハ消費シテシマヒマス勘定ニナ
リマス、ソレカラ借入金ノ方ノ利子ハ曩ニ
申上ゲタ通りデアリマスガ、大體預金部カ
ラ借りテ居リマスル米穀證券ニ依ラザル借
入金ノ利子ガ年五分デアリマシテ、六箇月
ニ元本ニ繰入レラレルト云フコトニナリマ
ス、ソレカラ米穀證券ノ方ノ利廻ハ四分位

ニナッテ居ルカト思ヒマス

○由谷委員 此場合議事進行ニ付テ一寸、

○東委員長 宜シウゴザイマス

○由谷委員 先刻土井君カラモ色々質問ガ

アリマシタシ、又恐ラク後デモ他ノ委員ノ
諸君カラモ御質問ニナルコトデアリマセウ
ガ、生産費ノ問題デアリマス、政府デ既ニ
何十件カノ調査資料ヲ御有チニナッテ居リ
マスレバ、其中ノ實例ヲ二ツデモ、三ツデ
モ宜シウゴザイマスカラ、具體的ニ、出來
ルダケ詳細ニ數字ナリ、説明ヲ加ヘタモノ
ヲ至急御配付ヲ願ヒタイト思ヒマス、同様
ニ生計費ノ調査ニ付テモ御願シタイと思ヒ
マス、更ニモウ一點ハ此統制法ニ至ルマデ
ノ統制委員會ニ於テ——能ク記憶シマセヌ
ガ、何時カノ新聞デ思出スノデアリマスガ、
色々ナ問題ノ重點ヲ御調べニナツタモノガ
新聞ニ出テ居ッタヤウニ記憶スルノデアリ
マス、例ヘバ先達私ガ本會議デ質問致シマ
シタ内地米ノ思惑ニ對スル、政府ノ公定相
場ヲ案ス者ニ對シテ罰則規定ヲ設ケルコト
ガ善イトカ、惡イトカ云々風ナ色々ナ中心
點ノ研究資料ト申シマスカ、會議ノ資料ガ
出テ居ッタヤウニ新聞デ承知シテ居リマス
ガ、是モ一ツ纏メテ御配付ヲ願ヒタイと思
ヒス

○河野委員 議事進行ニ付テ——材料ノ要

致シマス、本日ハ是デ散會致シマス

午後零時二十三分散會

求ヲ一ツシタイノデス、一寸書イテ下サイ、成ベク早く欲シイノデスカラ……、

一、米穀移動調査費關係資料、米穀ノ移動調査ヲスルノニ色々關係ノ資料ガ御入用ト思ヒマスカラ、ソレニ關スル資料、第二ガ生産高調査ニ關スル關係ノ資料、第三ガ將來ニ於ケル需給推算ノ資料、是ハ五年デモ十年デモフルダケ一ツ願ヒマス、第四ガ米穀資金増加ニ關スル基準ノ資料、是ハ只今一寸質問シタノデスガ、ソレニ對スル數字のノ資料ヲ一ツ欲シイ、第五ガ生産費調査ニ關スル關係ノ資料、第六ガ農民ト商工業者トノ租稅負擔比較ノ表、第七ガ米穀販賣實情ノ調査、第八ガ本法ニ關スル勅令ヲ色々御出シニナルヤウデアリマスガ、既ニ大體ノ方針ハ御決リデセウカラ、勅令ノ要綱ヲ戴キタウゴザイマス、第九ガ全國ノ米穀倉庫調べ、第十ガ米穀特別會計ノ俸給費、事務費ノ表、ソレダケヲ一ツ至急御提出願ヒタイ、尙ホ此資料ヲ戴イタ上デ十分審議ヲ重ネタイト思ヒマ스가、午後ハ本會議ガアリマスカラ、是デ散會爲スツラ如何カト思ヒマス

〔「贊成々々」ト呼フ者アリ〕

○東委員長 ソレデハ大體サウ云フコトニ